

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和4年4月28日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、漁場によってばらつきがあるものの、全海域の平均値では3.5%となっており、概ね良好な状態であった。
- ・貝殻異常については、一部の貝に、昨年の軟体部委縮からの回復の痕と考えられる段がみられた。
- ・貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合を示すa値の平均値は低かった。
- ・水温は、平年値に比べて低めに推移しており、現在は貝に異常は確認されていないが、今後水温が20℃以上になると症状が現れてくることも考えられるので、貝の観察及び管理に注意してください。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁場*1	貝の種類 (R3産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝*2	0.7(1.9)	-0.5(-0.7)	0	0%
中部①	日中交雑貝	3.4(2.5)	-0.3(-0.1)	0	0%
中部②	日中交雑貝	5.2(3.0)	-0.9(-0.7)	0	0%
南部	日本貝	3.0(3.8)	-0.4(-1.3)	0	0%
南部	日中交雑貝	5.2(4.5)	-0.2(-0.1)	0	0%
平均値		3.5(3.1)	-0.5(-0.6)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめぐりに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%):アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a値:閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。

赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。